鶴報

第２３７号
2019年３月３日

日本大学鶴ヶ丘高等学校　広報部
東京都杉並区和泉２－26－12
TEL　03−3322−7521（代）
http://www.tsurugaoka.hs.nihon-u.ac.jp

第２学年　カナダ修学旅行

学　校　行　事　《 第３学期 》

１月８日　始業式
　９日　２年　志望理由書講座・実力養成講座開始
　16日　１年　小論文試験
　　２年　志望理由書サポート
　17日　２年特進　実力試験（～18日）
　18日　１年　実力試験
　22日　推薦入学試験（普通・特進）
　25日　実用英語技能検定（１・２年全員受験）
　26日　ＡＯ・公募推薦入試合格者報告会
２月１日　３年　学年末試験（卒業前教育確認試験）
　６日　１年　小論文講座
　７日　１・２年　芸術鑑賞会
　10日　一般入学試験（普通・特進）
　15日　２年　実力試験（～16日）
　20日　３年生を送る会
　23日　１・２年　オープンスクール
　　卒業謝恩会
３月３日　第68回卒業証書授与式
　５日　１・２年　学年末試験（～８日）
　９日　新入生招集日
　10日　大学入学前英国語学研修（～ 25日）
　12日　一般入試合格者報告会
　19日　普通救命講習会
　20日　平成30年度修業式
　22日　春期外部講座（～26日）

卒業おめでとう

平成30年度 第68回卒業証書授与式

第六十八回卒業式が、平成三十一年三月三日（日）、本校体育館にて挙行された。四一九名（男子一七二名・女子二四七名）の卒業生が、数々の思い出と未来への希望を胸に新たな一歩を踏み出した。

―式次第―

開式
国歌斉唱
卒業証書授与
総代　市村　みのり（板橋五中）
日本大学学長賞
井上　花純（牛込一中）
優秀賞　学術・文化部門（団体）
代表　山口　春香（横山中）
優秀賞　学術・文化部門（個人）
宮本　遥（山王中）
優等賞
代表　首藤　あすか（田無二中）
皆勤賞・精勤賞
代表　原　優介（常盤中）
校長賞（皆勤賞受賞者の保護者）
代表　久保　順子殿
生徒会功労賞
代表　柴田　幸（西葛西中）
学校長式辞
川原　容子
学長告辞
大塚　吉兵衛
（代読　生物資源科学部長　大矢　祐治）
学校から卒業生へ記念品贈与
代表　板橋　千夏（東林中）
卒業生から学校へ記念品贈呈
代表　太田　結花（北沢中）
同窓会から卒業生へ記念品贈与
代表　中島　里帆（高井戸中）
桜園会から卒業生へ記念品贈与
代表　梅影　七菜（生田中）
在校生代表送辞
影山　颯大（石川台中）
卒業生代表答辞
髙橋　タケル（御成門中）
卒業生保護者代表謝辞
根本　友紀殿
校歌斉唱
送別の歌斉唱
閉式

各賞受賞者

【日本大学からの表彰】
学長賞
E　井上　花純（牛込一中）
優秀賞　学術・文化部門（団体）
放送部
優秀賞　学術・文化部門（個人）
D　宮本　遥（山王中）
優等賞
A　市村　みのり（板橋五中）
B　首藤　あすか（田無二中）
C　板橋　千夏（東林中）
E　井上　花純（牛込一中）
F　太田　結花（北沢中）
柴田　幸（西葛西中）
G　中島　里帆（高井戸中）
原　優介（常盤中）
K　梅影　七菜（生田中）
L　千木良　亮磨（千歳中）

【本校からの表彰】
皆勤賞【校長賞】
※（　）内は校長賞＝皆勤賞受賞者の保護者に贈る

A　金川　雅［晶子］（桜川中）
久保　柚［里香］（稲城五中）
柴田　諒真［典子］（府中二中）
米田　光里［真子］（加賀中）
若井　美菜子［真江］（富士見台中）
宇田川　真優［奈々絵］（神明中）
B　川野　海咲［久美子］（宮崎中）
鈴木　拓磨［ゆかり］（三鷹二中）
高松　虹羽［裕子］（杉森中）
髙柳　飛翔［博子］（深川八中）
大村　理沙［由紀子］（狛江二中）
C　車谷　春奈［久美子］（練馬東中）
田中　里彩［直美］（西池袋中）
峰岸　れみな［なるみ］（三沢中）
山田　真椰［あおい］（小山中）
小澤　直矢［玲子］（橘中）
佐藤　はるか［馨如］（町田一中）
下手　陽織［真澄］（調布中）
引間　亮［まみ］（稲城五中）
藤崎　彩音［恵美］（恩方中）
古川　竜平［薫］（妙典中）
三浦　拓真［幸子］（椚田中）
八木沼　さくら［直美］（船橋希望中）
D　山口　航平［和子］（高津中）
北村　優奈［千春］（千歳中）
木全　音絵［美登利］（大森三中）
鈴木　悠花［朋恵］（金井中）
中井　のどか［さおり］（大泉学園中）
長沼　飛竜［法子］（篠原中）
箭内　咲紀［奈美］（瑞江二中）
相内　朱里［敏子］（武蔵野六中）
武居　伶夏［睦美］（南菅中）
堂本　菜乃巴［由美子］（西高津中）
南　達朗［なるみ］（南菅中）
E　加藤　麻愛［紀子］（調布五中）
近藤　伴紀［寿枝］（町田一中）
鈴木　里菜［令子］（玉川中）
常山　ほのか［美和］（国分寺一中）
原　優介［明美］（常盤中）
F　有水　葉優［雅子］（大道中）
鈴木　梨乃［智子］（関中）
乙部　奈子［二三代］（国分寺五中）
久保　美由紀［順子］（東村山六中）
小山　衿菜［恵夏］（西原中）
内藤　怜香［和枝］（調布五中）
山崎　沙也佳［千代］（茗台中）
池濱　翼［悦子］（武蔵野三中）
髙橋　春斗［智美］（開進一中）
赤羽　美緒［小百合］（三鷹六中）
G　神谷　脩輔［由紀子］（篠崎二中）
金　佳耶［福実］（東京朝鮮中高級中）
隅田川　愛花［香苗］（練馬中）
中野　瑶己［寿恵子］（デュッセルドルフ日本人中）
樋口　菜花［幸子］（東蒲中）

精勤賞

A　阿部　ゆりか（開進一中）
石井　隆一（葛飾中）
尾松　里夢菜（調布五中）
宮下　和明（椚田中）
宮本　侑柊（松江一中）
B　加納　藍花（国分寺二中）
佐藤　黎（志茂田中）
首藤　あすか（田無二中）
C　西川　智紀（松江二中）
板橋　千夏（東林中）
岩崎　未央（椚田中）
尾上　あおい（稲城五中）
鎌倉　賢人（杉森中）
川端　みな（関中）
小林　理沙子（梅丘中）
E　荒井　裕美香（小金井南中）
石森　孝太朗（御園中）
井上　花純（牛込一中）
高橋　由夏（宮崎中）
竹下　美里（杉森中）
田中　竜聖（西中原中）
平松　梨紗（六月中）
盛永　美希（深川六中）
F　浅野　環（本所中）
風祭　はるか（旭丘中）
鎌田　唯吹（和光三中）
柴田　幸（西葛西中）
安武　花歩（白幡中）
脇坂　祐也（国分寺一中）
G　金井　咲樹（土合中）
中尾　大樹（赤塚一中）
中島　里帆（高井戸中）
村上　愛（市川七中）
H　木下　龍之介（日吉中）
柳沼　瞳子（中村中）
I　益田　かの（高津中）
J　杉山　友介（浅間中）
K　梅影　七菜（生田中）

生徒会功労賞

○生徒会長
髙橋　タケル（御成門中）

○生徒会副会長
金子　真奈（尾久八幡中）

○生徒会書記
飯塚　映励奈（石神井西中）

○学級委員
鈴木　健斗（竪川中）

○風紀委員
柴田　幸（西葛西中）

○厚生委員
白川　将貴（神明中）

○図書委員
西川　智紀（松江二中）

○体育祭実行委員
中尾　大樹（赤塚一中）

○鶴ヶ丘祭実行委員
田﨑　あずさ（開進三中）

○部活動運営委員
飯岡　大和（武蔵野三中）

○編集委員
服部　武（武蔵野二中）

○選挙管理委員
松下　世奈（砧南中）

部活動【体育系】

○スキー部
立川　湧斗（石川中）
山下　菜央（小金井二中）

○水泳部
鎌倉　賢人（杉森中）
松下　世奈（砧南中）

○陸上競技部
若杉　栞南（玉川中）

○野球部
齋藤　北斗（葛飾中）

○サッカー部
横溝　純平（八王子五中）

○男子バスケットボール部
庄司　圭吾（大鳥中）

○女子バスケットボール部
野上　歩海（戸越台中）

○男子バレーボール部
杉山　友介（浅間中）

○女子バレーボール部
白石　梨湖（向丘中）

○アメリカンフットボール部
吉田　拓郎（中野二中）

○テニス部
北村　優奈（千歳中）

○男子ソフトテニス部
武政　陽也（深川八中）

○女子ソフトテニス部
相内　朱里（武蔵野六中）

○バドミントン部
鈴木　大志（練馬東中）
荒木　梨沙（府中二中）

○剣道部
小田　あかり（大泉西中）

○弓道部
堀田　和希（弦巻中）
大野　凜子（東田中）

○空手道部
宮本　侑柊（松江一中）
川上　菜菜（明海中）

○ゴルフ部
小野寺　悠（東高津中）

部活動【文化系】

○写真部
金川　雅（桜川中）

○放送部
山口　春香（横山中）

○サイエンス部
中島　尭輝（駒沢中）

○情報部
樋口　菜花（東蒲中）

○英語部
小澤　華奈子（瀬田中）

○演劇部
田中　良弥（牛込三中）

○吹奏楽部
錦古里　歩美（三鷹二中）

○バトントワリング部
小山　由梨香（府中十中）

○カラーガード部
片木　麻綾（加賀中）

○茶・華道部
山崎　沙也佳（茗台中）

○料理部
八島　もえ（樽町中）

○書道部
上原　優希（樽町中）

同好会

○ダンス同好会
大石　紗椰（調布八中）

団体功労賞
スキー部
アメリカンフットボール部
男子ソフトテニス部
空手道部
ゴルフ部
放送部
演劇部

【その他からの表彰】

東京都知事より表彰
都知事賞
千木良　亮磨（千歳中）

日本私立中学高等学校連合会より表彰
会長表彰
中野　瑶己（デュッセルドルフ日本人中）

東京都高等学校文化連盟より表彰
文化活動優良生徒
岸田　寧々（国泰寺中）
奈良原　幸拓（西宮中）

東京都高等学校体育連盟より表彰
体育優良生徒
川上　菜菜（明海中）
仲川　耕平（日野一中）
優秀選手
仲川　耕平（日野一中）

杉並区より表彰

杉並区スポーツ栄誉顕彰
野球部

社会参画をぜひ一緒に

学校長　川原容子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この三年間の鶴ヶ丘高校での成長には、著しいものがあったかと思います。そして、皆さんの様々な地域から縁あって集い、クラス・部活動・生徒会などの活動において三校訓のもと、しっかりと自分と向き合い、仲間を信じながら、道を拓くために頑張ってきた姿には、私自身も多くの力をもらいました。

今後は、バランスよく学んできたことをさらに深めて、生涯アクティブラーナーとして、変わることを恐れず、強い意志を持って行動し「幸せ」になってほしいと思います。

そして、これから広い世界に出る皆さんには、ぜひ社会について考え行動してほしいと思っています。タイトルにもある社会参画ですが、これは社会参加とは少し違います。参画とは、単に参加するだけではなく計画段階から加わることです。

皆さんは、個人や日本だけではなく、世界のすべての人々がよりよい未来を創造する（Well-being）ためには、どうしたらよいと思いますか。

それらを考えるために、まず地球温暖化・環境・エネルギー・ダイバーシティ・貧困・平和など、どんな社会問題が皆さんの周りで起きているか、関心を持って観ることから始めてみてはどうでしょうか。

少し観るだけでも、自国第一主義では解決することが難しいことがわかります。このままでいけば、一〇〇年後を待たずに、地球を残すことが危ういとさえいわれています。

自分に直接振りかかってこなければ、静観を決め込んでいる人が多いこの現状を、打破しなければなりません。皆さんには、これらのことについても考え行動できる人となって活躍してほしいと思っています。

次期学習指導要領でも、「社会に開かれた教育課程」、すなわち学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持つことを教育理念のポイントとしています。これらのことに意識を向け、考えることが求められているのです。

今までの学びをもとに、人類共通の課題に立ち向かっていくために、たった一つの小さな行動や考えが、波となって人を巻き込むことができます。

予測不能な時代と言われていますが、それは、チャンスではないでしょうか。

勤勉であり、真面目な国民性から考えて、このチャンスを活かし、問題解決を臆せずできるのは、君たちです。

周囲の我々大人を巻き込んで、新しい道を拓いていってください。

そのためにも、先人の知恵や知識をしっかり理解し、深めていく為の一助として、「本を読む」ことはぜひ続けていきましょう。

新しい道を拓くためには、過去の歴史から多くを学び、過ちの反省を踏まえていくことが前提となります。

勇気を持って、社会参画をぜひ一緒にしていきましょう。

卒業おめでとう　言葉の花束

ずっと…

学年主任　賀来　義蘭（地歴公民科）

この三年間で得たものは何ですか？

母校、恩師、親友、ライバル、仲間、毎日の登下校、楽しかった学校行事の思い出、きつかった部活の練習、苦しみながら掴み取った試合の勝利、ぼろぼろに泣き崩れた最後の大会、ドキドキした恋愛の記憶……。

何でも構いません。いくつだってOKです。鶴高で手に入れたかけがえの無い何かを、五十年先、六十年先もどうか大切に持ち続けてください。そのことが君たちの人生を豊かにしてくれるでしょう。

君たちと出会い、三年間過ごしたこと。それが私の得たものです。六十年先も忘れません。

卒業おめでとう。

贈る言葉

A組担任　石山　道宏（数学科）

卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。

僕からの送る言葉は、

Go for it!

意味は各自調べてください。

卒業おめでとう

B組担任　中森　秀紀（理科）

これから先、皆さんは様々な出来事を経験するでしょう。時には大変な事もあるでしょうが、鶴高生はやればできる子なので大抵のことはなんとかなります。

どんなときも「元気出して行こう」を合言葉に、様々なステージで活躍することを期待しています！

時は金なり、信用なり

C組担任　山口　重喜（保健体育科）

お金を稼ぐ方法を知っていても、貯めることを知らない人は、一生涯精を出して働いたとしても、最後にはわずかばかりのものしか残らない。

与えられた仕事は一生懸命成し遂げましょう。うまい儲け話や一攫千金のような話は避けるようにしましょう。勤勉と忍耐が繁栄をもたらす最も確実な道だということを知っておきましょう。

富への道は「勤勉」と「倹約」。つまり時間もお金も無駄にせず、その両方を最大限有効に活用することです。倹約の習慣は人生を豊かにしてくれる習慣の一つです。残念なことに、私はこの習慣を完全に自分のものにすることはできませんでした。しかし、幸運にもこの習慣を身に付けている人と出会うことができました。私が必要としていものを持っている人は、私にとってかけがえのない存在です。良きパートナーこそ幸せになる近道です。

感謝

D組担任　桐田　知典（地歴公民科）

四月に元E組・F組から半分ずつのメンバーが集まり、三年D組ができました。昨年と同様で、朝から大きな声で静かにするように話しても、「聴く耳持たず」な感じでした。そんなD組のみなさんは、どんな時も「やるときはやる」人たちだったような気がします。

毎朝、怒鳴られても、意に介さずマイペースを貫いているようで、大事な時はきちんとこちらを向いてくれる。そんなみなさんのおかげで一年間乗り切ることができました。今は感謝の気持ちで一杯です。ありがとう。これからの活躍を祈っています！

Think Different

E組担任　山内　智史（英語科）

夢を持て
理想を語れ
ただ生きるな
全力で生きろ
信念を持て
己の想いを貫き通せ
心から好きなことをしろ
一度きりの人生が輝く
人生に間違いなどない
過去はいくらでも変えられる
その手で全てを正解にしろ
学び続けろ
成長し続けろ
思いがけない未来に出会える
そのための努力をしろ
決して自分を見限るな
努力は運命を支配する
自分自身を好きであれ
自分自身に自信を持て
人の魅力は内から生まれる
優しくあれ
誰にでも優しくあれ
愛すべきもの全てに
優しさは伝染する
人を愛しなさい
愛は心を育てる
全ての感情を有する
キミたちが好きだ
大好きだ
またいつか、逢いたい
この瞬間の想いを大切に
心から、ありがとう
さよならが
始まりを告げる

Satoshi

力を発揮しよう！

F組担任　金森　真彩美（国語科）

皆さんと過ごす中で、やさしいところや仲間思いなところ、一心に頑張るところや自分の役目を果たすところ、かわいい気持ちを持っているところなど、皆さんの多くのいいところを知りました。そして皆さんの多くの成長を感じました。少し残念だなと思ったことは、これらのいいところに皆さん自身があまり気がついていないのかなと思うことも多かったことです。皆さんにとっては普通のことが、外から見ればとても大きな輝きになっているのです。これらの皆さんの良さはどんな場所でも輝くものだと思っています。だから卒業後も大丈夫だと思っています。卒業おめでとう！

敢為邁往

G組担任　葛西　香緒（保健体育科）

真新しい制服に身を包み、緊張しながら入学したあの日から三年、あっという間でしたね。鶴高でできた仲間、たくさんの経験や思い出は、一生モノの宝物です。また、これからの人生の大きな支えとなります。胸を張り、前を向き、精一杯生きてください。難題に直面したときは、初めからできないと決めつけたり投げ出したりせず、苦しいと感じたもう一歩先まで挑戦してみましょう。できないことなんてない。苦労せずにできる一〇よりも、苦労してできた一の方がずっとずっと有意義なものです。今後のみんなの活躍を、ずっと応援しています。がんばれ！

思考とは、驚きからの絶えざる飛翔

H組担任　東條　剛（国語科）

ご卒業おめでとうございます。皆さんと共にこの日が迎えられたことを大変喜ばしく思います。

さて、『荘子』に「無用之用」という言葉があります。

とかく、即時性や実用性が求められる時代です。考えることに労を費やすよりも、二項対立での単純な判断やAIに導かれた結論は、時として魅力的な答えとして目に映るかもしれません。が、一方で思考停止を招きやすいのも事実です。

アインシュタインは「重要なのは疑問を持ち続けること。知的好奇心は、それ自体に存在意義がある」と言っています。

さらなる飛躍を祈っています。

ご卒業、誠におめでとうございます。

巣立ち

Ｉ組担任　伊勢川　美佳（家庭科）

初めて一年から三年まで持ち上がり、我が子と同じ歳のこの学年にはとても思い入れがあります。学校生活や我が家を通しみなさんの心情や親の気持ちがとてもよくわかりました。だから、教員というより親のように接していたと思います。口うるさい事もたくさん言い、先回りして導いてきました。それももうおしまいです。これからは自分で決断し、誇れる人生を築いてください。どんな時でも顔を上げ、２本の大きな足でしっかりと立ってください。苦して道に迷ったり、ほっこりしたくなったら鶴高へ来てください。いつでも応援しています。三年間ありがとう。卒業おめでとう！

いつも心にワクワクを

Ｊ組担任　高間　大輔（英語科）

ワクワクを大切に、素敵な人生を。卒業おめでとう。

贈る言葉

Ｋ組担任　堀内　美和（理科）

ご卒業おめでとうございます。この三年間、楽しいこと、苦しいこと、さまざまな経験をしたことでしょう。人は転ぶからその痛みを知り、起き上がり方を知るように、経験は必ず糧となって残ります。その糧を活かして、どんどん道を切り開いていってください。そして節目のよい機会です。ご家族をはじめとして、高校生活を支えてくれたたくさんの人たちへの感謝を表しましょう。子供から大人になっていく、激しく成長していく、そんな大切な時間を、一緒に過ごせたことを嬉しく思います。皆さんの未来にたくさんの幸せがありますように。

これからが本当の始まり

Ｌ組担任　牛尾　文洋（数学科）

卒業おめでとう。本校で学んだ三年間、心に残る思い出、楽しい思い出等たくさん思い出されることと思います。本校で得た多くの思い出を語ればキリがありません。皆さんはこの卒業が高校生活のゴールではありますが、厳しい社会へのスタートであることは自覚されていることと思います。そして、これからも多くの試練に直面されると思います。私は、最後まであきらめない・くじけない、の精神で乗り越えてくれると信じています。また、高校を卒業したことで学ぶことが終わったわけではありません。これからも自分を信じて前進あるのみです。学ぶのに遅すぎることはありません。人の価値とは、その人が得たものではなく、その人が与えたもので測られる。頑張ってください。

よき人生を

副担任　日比　茂（国語科）

卒業おめでとう。今日から諸君は鶴ヶ丘高校を巣立ち一般社会に出ていきます。

君たちに望むのは自立心です。正しい自己判断とそれに伴う責任感のことです。成功するのと同じくらいに失敗することも大切です。時には挫折感を味わうことも必要でしょう。世間という鏡を通して初めて自分の真の姿を知ることができるのです。

君たちが求むべきは良い友人です。衝突と容認を繰り返して人間関係は構築されます。仲良し関係だけではない真の友達を得てこそ、人生は充実したものになるのです。

良い人生を歩んで下さい。

卒業おめでとう

副担任　小林　仁（地歴公民科）

「学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ち殆し」という言葉があります。当事者意識、目的意識を持ってこれからの人生を歩んでください。

三度の飯より好きな事　ありますか？

副担任　磯崎　宏（英語科）

卒業おめでとうございます。

さあ、出かけよう！

①自分で汗をかいて、手にマメを作って体験したことが宝物

何事も、まずは自分の五感でやってみて！特に自然の中で！

②自分の気持ちに素直になって、三度の飯より好きなことは何？

学生の宝は「時間」。今しかできない事は今やるしかない！

③普通の人が考えそうにないことをやってみよう。

自分の中でバリアを作らない！一生懸命やっていれば、必ず人は助けてくれるから！

私も北アルプスにあこがれ、一〇〇キロ歩き、子供会キャンプに明け暮れたなあ。

今でも登りと長さでは負けたくない、これが生きていく糧です。

好きなことを究めよう！

副担任　齋藤　純（理科）

高校生活が終われば、いよいよ専門的な学びになります。これからは、興味のあることを好きなだけ勉強できますね。苦手教科を克服するのではなく、得意なことをどんどん伸ばしてください。ただ、やるかやらないかは自分で決められます。「責任」という重みを抱えつつ、自分の弱さに打ち勝って、あなたたちが成長していくことを期待しています。卒業しても母校のことを忘れないでくださいね。卒業生と話をすることが私達教員の何よりの楽しみなので。卒業、おめでとう！

たくさんの笑顔をありがとう

副担任　金箱　春菜（数学科）

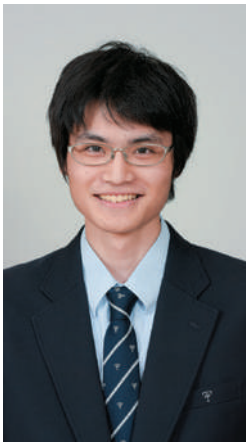
ご卒業おめでとうございます。私が皆さんと過ごせた時間は一年間という短い間でしたが、授業や行事に取り組む中で皆さんの様々な表情を見ることができ、充実した高校生活を送っているのだなと感じました。皆さんの真剣な眼差しやキラキラした笑顔にたくさんのエネルギーをもらうことができました。高校三年間で経験したことは必ず皆さんの力となり魅力となります。鶴ヶ丘高校で学び、成長した自分に自信を持ち、常に目標を持って今後の人生を歩み進めていってください。これからもずっとみなさんを応援しています。

卒業生の言葉

―三年間の思い出　そして後輩たちへ―

高校生活を振り返って

三年A組　柴田　諒真（府中二中）



これから始まる新しい生活に胸を躍らせ、両親の母校である鶴ヶ丘高校に憧れて入学した日から、もうすぐ三年が経とうとしている。私の高校生活は、本当にあっという間に卒業を迎えようとしている。

この三年間を振り返ってみると、良い友人に出会い、文化祭、体育祭、カナダへの修学旅行、ゴルフ部での試合や合宿など、様々な事が思い出される。しかし、楽しい思い出ばかりではない。恥ずかしながら私は、勉強で苦労することが多かった。高校に入り、気の緩みからか、しっかりと計画的に学習するということを怠ってしまった。付属高校だという甘えもあったと感じる。勉強が思うように行かない時、励まし、力になってくれたのは、先生方だ。本当だったら叱られてもおかしくないような場面でも、具体的な弱点を見つけ、次に繋がるアドバイスをくれた。悲観的になっていた私も、前向きな気持ちになれたことが何度あったかわからない。そして周りの支えのおかげで、私は、希望する進路に進むことができた。

在校生の皆さん、鶴高での三年間は、楽しいことの連続です。しかし、やるべき事はしっかりと、逃げずに向かい合って欲しいと思います。あとは、先生方を信じて、充実した高校生活を送ってください。

進学先：日本大学文理学部数学科

高校生活を振り返って

三年I組　内藤　怜香（調布五中）

今、高校三年間のことで思い出すのは、部活動や文化祭の時などに、友達と笑いあった日々です。そして、そのような楽しかった毎日が終わってしまうと思うと、とても悲しいです。

高校に入学し知らない人ばかりの中で、自ら積極的に話しかけることが増えました。これまで自分はシャイだと思っていたので、これは自分にとってとても大きな成長であったと感じています。友達と話すことが楽しくて、休むことなく通うことができました。

唯一高校生活の中で大変だったのは、進学先を決めることでした。私は将来にやりたいことが決まっていなかったため、大学で何を学びたいかが分からず何度も何度も悩んで泣きました。日本大学への進学を決めていた私には、多くの選択肢がありました。一つひとつの学部学科を検索したり、気になるところのオープンキャンパスに行ったりして、最終的には、私はここで学んでみたい！と、興味が湧くところを見つけることができました。それが将来どのように生かされるかは分かりませんが、自分なりに頑張ってみようと思います。

また、大学を選ぶ際、定期テストで良い成績を残せば進路の選択肢が広がります。日々の積み重ねがとても大切なのだと感じました。

高校三年間は時が経つのがとてもはやく、特に三年生になってからはあっという間です。在校生の皆さんは、勉強でも遊びでも悔いの残らない高校生活を送ってください！今を大切に頑張ってください。

頭髪服装指導がきびしかったり、ほぼ毎日小テストがあったり、文化祭のすぐ後に定期テストがあったりしましたが、でもそんな日鶴が大好きです。

そして、ずっとそばにいてくれた友達にとても感謝しています。ありがとう。

進学先：日本大学危機管理学部危機管理学科

初志貫徹

三年L組　隅田川　愛花（練馬中）

今、改めてこの三年間を思い返すと、部活動や学校行事に尽力したり、勉強に励んだり、遊んだりと私の高校生活はとても充実したものだった。おそらく、そう思うことができているのは両親や先生方、友達の支えがあったからというのはもちろんだが、自分の意思を貫いて数々のことに挑戦し、全うしてきたからだと思う。

私は入学時から特進コースに所属

しながら、バドミントン部に入部し、仲間と毎日切磋琢磨しあってきた。学年が上がるにつれて勉強も難しくなり、クラスメイトとの模試の点数は離れていく一方。さらに、はじめは部内に複数いた他大学を目指す友達もやめてしまい、受験に対する焦燥感に駆られた。それでも私は最後まで続けることを決心し、引退まで部活動に全力を注いだ。部活動での思い出は私の宝であり、二年半で身につけた自信は引退後の受験勉強にも大いに役立ったと思う。

そして大学入試。受かる見込みなど全然なかったが、第一志望にこだわり最後までやり通した。合格通知を見たときの感情はおそらくこの先も忘れないだろう。私に挑戦する機会を与えてくれた周りの人たちに感謝すると共に、この選択をして本当に良かったと思っている。

この表題の初志貫徹は、最初に決めた志を最後まで貫くという意味だ。自分の心に正直に、そして諦めずに努力し続ければ必ず結果はついてきてくれると思う。だから、これから先どんな選択をしようと、自分の選んだ道を信じ、それが正しい道となるよう努力を惜しまず続けていきたい。

進学先：上智大学法学部　地球環境法学科

勝又温史君、横浜DeNAベイスターズ入団へ！

十月二十五日（木）に行われた二〇一八年プロ野球ドラフト会議におきまして、本校三年生の勝又温史が横浜ＤｅＮＡベイスターズから指名を受けました。来年度からは、プロ野球選手として羽ばたいていきます。

三年Ｉ組　勝又　温史（狛江二中）

「プロ野球選手になります。」入学当初、萩生田監督との面談で言ったことが現実になりました。まだ右も左も分からない私が大きな夢をこの三年間で掴むんだと、がむしゃらに野球をやり続けた甲斐がありました。しかしこの三年間、楽しいことばかりではありませんでした。公式戦ではなかなかストライクが入らず、試合を壊してしまった事もありました。ライバルにエースナンバーを奪われた事もありました。大事な大会でホームランを打たれた事もありました。また野球のみならず学校生活においては、先生に叱られたり、友達と意見が合わず口喧嘩をして、「ごめんね。」の一言がなかなか言えなかったりした事もありました。さらに、ユメタン（英語の単語帳）の小テストでなかなか合格点を取れなくて、英語の補習にお世話になった事もありました。ユメタンに関しては学校生活の中でもなかなかの強敵で、日大三高よりも強い敵だったかもしれません。これらのことだけではなく、まだまだ上手くいかなかったことは沢山ありましたが、後悔は一度もしていません。私はたくさんの失敗をしたからこそ人よりも色々なことを知れたり、経験したり、感じたりすることが出来たと思います。それを私にくれたクラスの仲間、学校の仲間、先生方、学校関係者の方々、指導者の方々、そして、なによりも思い出がある三年間を一緒に戦った野球部の仲間、私に携わってくださった方々全員に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。いまは寮生活をしています。一時間目から六時間目まで野球の授業です。そんな私にはまた新たな夢が出来ました。「メジャーリーガーになります。」まだまだ右も左も分からない自分ですが、この夢を必ず掴むという気持ちだけは、はっきりしています。皆さんも共に切磋琢磨しあい頑張りましょう。そして、これからも応援よろしくお願いします。

平成30年度AO・公募推薦入試合格者報告会　進路指導部　葛西　香緒

１月26日（土）13：30より、図書館２階多目的ホールにおいてＡＯ・公募推薦入試合格者報告会を実施しました。７名の報告者を予定していましたが１名がインフルエンザのため欠席となり、６名の３年生に合格体験談を語ってもらう形となりました。１名につき10分程度で、事前に作成してもらった資料をもとに、入試概要、志望動機、努力したこと、失敗談、小論文や面接等への対策、後輩へのアドバイス等を様々な観点からまとめて発表してもらいました。３年生の中には「自分自身もこの報告会で先輩たちから教えて頂き、刺激を受けたから」と語る者もおり、それぞれが後輩への思いを込めて一生懸命話をしてくれました。

小林　理沙子
杏林大学
保健学部 看護学科（公募）
- 看護師になるための勉強や国家試験のための勉強は看護系の大学ならどこでもできるから、キャンパスの雰囲気や施設など大学の特色をよく見て決めると良い。
- 対策は進路指導室にある受験報告書を参考にした。
- 学校での「志望理由書講座」や「小論文講座」はしっかりと聞き、準備は早くから始めるべき。
- 部活動を最後まで頑張ったことは受験勉強においても意味があった。
- 部活動の後にもコツコツ短時間でもやっていたことは、そのときは大変だったが、そこで頑張ったからこそ結果が出たと思う。
- 英検等は「勉強もしっかりと取り組んできた」という証明になるものだから、とっておいた方が良い。

河井　美咲
明治大学
農学部 食料環境政策学科（ＡＯ）
- 書類審査は国語の先生に相談、添削してもらった。
- 面接は１対13名程度（教授全員）だったため非常に緊張した上に、たくさんの質問をされた。事前にしっかりと面接形態を調べて対策・練習をした方が良い。
- 小論文は学校の講座を受けて対策をした。
- インターネット等でもさまざまな文献を見た方が良く、新聞でも興味のあるものや関係のあるものは見ておくと良い。
- ＡＯで勝負をするというよりは、「選択肢を増やす挑戦」という気持ちで受験を考えた。それだけでも視野が広がって、私は良かった。

川上　菜菜
慶應義塾大学
環境情報学部 環境情報学科（ＡＯ）
- インフルエンザのため発表できず、資料のみ紹介。
- ＳＦＣに少しでも興味がある人は、自分の今までの人生を振り返って、興味のあること・大学で学びたいものを書き出すところから始めてみてください。

野上　歩海
日本大学
文理学部 体育学科（ＡＯ）
- ほとんど毎日部活動をやっていたが、大学に行ってもスポーツに携わりたいという気持ちから受験を決意し、保健体育科の先生に相談をした。
- 基礎学力到達度テストの勉強時期にＡＯ入試の時期が重なるので、基礎学力到達度テスト対策は早めに始めた方が良い。
- 体育学科に進学した先輩に直接特色を聞いたり、オープンキャンパスに行って聞いた話をメモに残しておいたりしたことが役に立った。
- 体育学科に限らず、興味がある学科のＨＰ等は早いうちから見ておいた方が様々な対策を考えられる。

西野　結芽
上智大学
総合人間科学部 心理学科（公募）
- チャンスを増やすために公募での受験を決意したが、その時期も始めた時期も遅く、書類作成に時間を費やし過ぎてしまったのが失敗だった。早い時期にしっかりと考え準備を始めることが大切。
- 人に胸を張って言えることを学校生活で作ることが大切。
- 嘘はダメだが誇張は良い。自分が何を頑張ったかを明確に言葉にできるようにしておくこと。
- 「なぜ日大ではないのか」という自分の強い意志を伝えられる考えをしっかりと持てるようにする。
- 自己推薦書などを書いているうちに自分の意志が着実に明確になった。何度も書く。
- 小論文の練習はただ書くだけでなく、書いたものを必ず添削をしてもらう。
- メンタルが大事。「ＡＯや公募は落ちても多数派で、落ちる可能性の方が高い」という気持ちを持って、決してネガティブにならないように。

大野　凜子
日本大学
芸術学部 文芸学科（ＡＯ）
- 学科によって異なるが、試験内容は学科の特徴らしい内容が出る。
- 試験も面接も緊張するが、芸術学部だからこそ自分らしさを大切に、リラックスして挑むことが大事。
- 作家になりたいという受験生が多い中で「編集の仕事に就きたい」というアピールは効果があったと思う。
- 日々の中で文章に多く触れることが大切な準備になる。
- 「これが好きだ」と思うことには確信と絶対的な自信を持つこと。
- 準備は早い方がいい。先生に添削をしてもらう時間も多くとれるし、入試の内容は早く調べておく。
- 学校を何回でも見に行く。それだけでも他人とは異なる自信になってくる。
- 芸術学部は「個性」と「独自性」。日々の中でどれだけその分野に関わるかが自信につながる。

隅田川　愛花
上智大学
法学部 地球環境法学科（公募）
- 圧迫面接だとしても、しっかりと対策をとっておけば大丈夫。
- レポートや自己推薦書に関しては小山先生と矢口先生にお世話になった。毎日見てもらって書き直した数は160枚くらい。やった分だけ自信にもつながるし、それだけ見てくれる先生は鶴高にしかいない。
- 新聞の記事や興味のあったことはノートにまとめた。２冊分になった。
- 練習したらその分だけ小論文はできるようになる。
- コツコツとやってこなかった自分が悪いが、夏からの勉強は本当に必死にやった。
- ボランティアや委員会活動は強みになるからやった方が良い。
- 今頃授業の大切さを感じている。公募にも受験勉強にも授業でやってきたことは本当に大事なことだった。

以上、６名の報告にしっかりと耳を傾け、真剣にメモをとっている１・２年生の様子や表情は非常に印象的でした。報告会自体は１時間程度で終了しましたが、終わった後に３年生のところに直接質問に行く１・２年生が多く、またそれに優しく丁寧に対応している３年生の姿がありました。来場者からは「分かりやすく、ためになった。とても参考になった」「話を聞いて受験への意識が変わった」「日々の努力でどこまでも目指すことができるのだと、心から頑張ろうと思うことができた」「自分の自信のなかった考えに少し自信が持てた」「また個人的に質問に行きたい」など、意欲溢れる声が多く聞こえてきました。再来年には受験形態も大きな変化を迎えますが、自己の進路を前向きに考え積極的に行動する生徒が増えること、また、この合格に多くの後輩たちが続いてくれることを期待しています。

学年レポート 平成30年度この一年

体技心 ～心を磨いて自律を養え～

第三学年主任
賀来　義蘭

これは彼の机、あれは彼女の椅子、とひと目でわかっていたものが、どれも全く同じ見た目の机と椅子に戻っていく。朝日と笑顔と笑い声に溢れていた教室は、いつの間にか西日の差す誰もいない部屋になってしまった。人間の持つ感性が神から与えられたものならば、失ってからその大切さを痛感するような感性を与えた神というものは、ずいぶんと意地悪な存在ではないかと近頃思います。

もう間も無く終わろうとしているみなさんとの三年間を振り返る時、必ず思い出すのが入学式で保護者の方々にも伝えた「三年間毎日元気に学校に来よう」という言葉です。

みなさんは「心技体」という言葉を知っていると思います。精神力・技術力・体力の調和を大切に、とか「心技体」のバランスが整った時、良い結果が得られる、といった認識や使い方が一般的でしょうか。この言葉に関してやや興味深いのは、明治時代の古木源之助という人が、「まず身体の発育を促し、身体が成育して初めて高度な技が練れるようになる。様々な技を体得し勝負に勝ったり負けたりする内に、勝負を超越した理想的な精神が育まれる。」といった趣旨の言葉を残していることです。つまり順番で言うと「体技心」となります。なるほど、確かに小学校低学年に時速一五〇㎞のストレートを投げろとか、一〇〇mを一二秒、一三秒で走れと言っても無理でしょう。まずできる範囲で身体を健やかに成長させ、鍛えるのが先決です。

この考え方を数年前に知った私は、みなさんが入学した時にこれを伝えようと決めました。部活動の厳しい練習も、孤独な学校の勉強も、健康な身体と体力が不可欠です。休まない、遅刻・早退をしない、健康管理を心がけるなど、みなさんは三年間実践できたでしょうか？次に、健康で丈夫な身体が育まれた上で、勉強や部活動にのめり込むことができます。二年生になってからは学習にせよ運動にせよ、「地味にコツコツと頑張れ」ということを伝えました。アリとキリギリスの寓話はまさにそれで、この学年でも普段から何もしていない者と、地道に何かを積み上げ続けていた者とでは、いざという時に大きな差が生まれていました。それは三年生になって、夏に野球部が西東京大会で躍進したことや、秋に進路・進学で第一希望を勝ち取れたかどうか、にも表れていたと思います。

身体と技術が磨かれていくと、いよいよ心が磨かれていきます。自分のことだけでなく他人のこと、全体のことに目や心を配り、望ましい行動の取れる理想的な精神を培っていきます。無理矢理ひとことで言えば「大人になる」ということでしょうか。

卒業生のみなさん、この三年間で身体は大きくなりました。しかしその身体に内的充実は伴っていますか？いまだに毎日のように寝坊したり体調を崩したりしていませんか？何度も定期試験を受け、基礎学力到達度テストでも良い成績をおさめてくれました。しかしその学習内容は定着していますか？学校で学んだことをまだしっかり覚えていますか？それが不十分な人、まだ時間はあります。もう一度「体」や「技」に立ちかえって励んでください。残念ながらまだ不十分な人は少なからずいます。

僕は大丈夫、私は大丈夫という人、今度は心を磨く番です。今までみなさんは板書をノートに写す、宿題を出す、掃除をする、教えられた試験範囲を勉強するといった、与えられたことをこなす毎日でした。それさえこなしていれば無難に過ごして来られました。しかしこれからはそうは行きません。今何をすべきなのか、何をしてはいけないのか、自分で目的を立て、その達成のためにいくつかの目標や課題を自分で自分に課さなくてはなりません。そういう精神を自律と言います。これからさらに大人になっていくみなさんは、自由・自主・自立とともに自律の精神を養わなくてはなりません。

毎朝寝坊しないで自分が決めた時刻に起きられますか？課題の期日をちゃんと守れますか？人が話をしている時、静かに聞くことができますか？他人や他人の物を大切に思うことはできますか？自分のことよりも人のこと全体のことを尊重し、物事の優先順位をつけられますか？これからの数年間は今まで体験したことが無いほどの自由が手に入ります。その自由の中でどれだけ自律の精神を養えるか、みなさんの真価はこれから問われます。四年後、五年後、「心」をさらに磨いたみなさんに再会できるのを楽しみにしています。

第二学年の歩み

第二学年主任
伊沢　康子

第二学年に進級して、生徒に言った言葉がある。「先輩になる」という事だ。生徒たちは半分心配顔で、しかし自覚を持とうという決意が見えた。立場が人を育てるとも言うが、生徒たちは努力し、成長した。そして、頼れる所も出てきた二年生が終わる。

思えば、十月の修学旅行に向けて様々な取り組みをしてきた。「ユニバーサルマナー」「パラリンピック・ボッチャ教室」「事後学習のシート」「バンクーバーの朝日」。生徒たちはどれにも正面から受け止め、目に見えない上、答えのない何かを考えてくれた。

修学旅行へ行く前の九月、学校交流時の英会話を含めて、教員側としては心配ばかりであった。かくいう私も毎朝、担任の先生方に生徒の様子について心配の声をかけ続ける程であった。しかし交流時の生徒たちは頼もしい限りで、胸をなでおろすと共に、これからはもっと生徒に任せてみようと決意した。また、修学旅行全般を通して、現状を把握し、集団行動に協力をしてくれた生徒も多い。それこそ主体的な行動で、派手なことをするわけではないが、堅実な人といえる人物に成長しているのであろう。素直さや気遣いのある生徒を肌で感じられた行事になった。

生徒が大賞をいただいた俳句に「わけのわからぬ達成感」とあるが、学年としては、得られたことが多い一年間であった。修学旅行の事後学習として「ソーシャルアクションチャレンジ」のテーマ設定を考えている。ワークシートを作りながら、生徒はこのような難しいことに取り組めるのだろうかと心配をしていたが、なかなか興味深いことを書いてくる。ここでも生徒は私の予想を越え、その能力を発揮していた。「わけのわからぬ達成感」ではなく、一生懸命にやった結果の達成感が大事だと生徒は知っているのである。

もうすぐ三年生。勉強の事、進路の事、そして高校生活最後の部活動の事。新たに様々な難題が待っている。しかし、生徒たちは着実に成長しており、最後には自分の道を切り開いていくのであろう。そのため来る第三学年は希望を抱く一年として明るく感じられるのである。

一学年の振り返り

第一学年主任
田口　裕基

まだ学年の途中ではあるが、第一学年のここまでを振り返ってみたい。

□学年目標《文武両道の確立》

◇平成三〇年四月の月間目標《通学環境の変化に慣れよう！》

四月五日・入学式　天候　曇り後小雨

私は早起きである。毎朝三時二〇分に起きるのが日課となっている。そんな私がこの日は寝坊して起きたら五時一五分。でもいつも家を出るのが五時五〇分なので、学校には通常通り、七時前には到着した。

そんな波乱含みでスタートした私にとっての四月五日。桜も葉桜でせめて雰囲気を味わってもらおうと三月の満開時に蔦原先生にお願いして撮影してもらった桜の写真を教室の廊下に貼りまくった。

さて、現在、世界の七割の国が九月入学を実施しているが、日本では明治初期に会計年度として四月が年度始めとして定められ、予算の関係上、それに呼応し四月入学になったと言われている。また、日本では秋の米の収穫後、それを現金化し納税していたので会計年度が一月だと間に合わなかったので、四月になったとか、当時の大英帝国の会計年度が四月始まりでそれに合わせたとか言われている。

起源はなんであれ、桜咲く四月に新入生を迎い入れられるというのは気分最高である。鶴高に入って良かった、と思って三年後に卒業させたい、その思いを強くした。

四月一二日～一四日・オリエンテーション

鶴報第二三五号（二〇一八年七月二〇日）の拙稿を参照されたし。

◇平成三〇年五月の月間目標《最初の定期試験、赤点０人の達成！》

◇平成三〇年六月の月間目標《学業、部活、文化祭。メリハリのある学校生活！》

六月九日・校内英語スピーチコンテスト

参加者が全員一年生で九名のみ、という少数精鋭な？争いとなったが、そんな中、一位がＪ組の菊池結月、二位がＭ組の橘明日香、三位がＤ組の志村夏実という結果に。本年度の参加者はもちろんのこと、二年生ではさらに多くの生徒に挑戦してもらいたい。英語四技能を高める上で、スピーチコンテストへの挑戦はもっとも近道である。

六月一六日・高大連携教育（　）内は引率教員。敬称略。

昨年度までの三年間は三学部での実施だったが、本年度から一気に八学部に増えた。学部選択は生徒の希望を優先した。内訳は法学部七八名（中川・片桐）、経済学部九六名（谷口・蔦原・近藤）、芸術学部四九名（新藤教頭・千葉・酒匂）、危機管理学部・スポーツ科学部四七名（松井教務主任・津田・高部・徳田）、理工学部八〇名（土橋・寺島）、医学部四二名（斎藤裕・谷）、生物資源科学部九九名（田口・小山・富田）だった。

私は生物資源科学部の引率を担当したが、これまでの経験を活かしながら学部側にも様々な工夫を重ねていただいたおかげで、実施側、受講側共に満足度の高い結果になった。

六月二三日、二四日・鶴ヶ丘祭

入学してから三か月足らずで各クラスとも工夫を凝らした展示や劇を披露し、結果、Ｅ組が最優秀賞、Ｆ組が優秀賞を獲得。こちらも本年度の経験を活かし、次年度はさらにお客さんファーストの精神で充実した展示・発表をしてもらいたい。

◇平成三〇年七月の月間目標《ガッツリ期末試験、キッチリ一学期振り返り、スッキリ夏休み！》

七月四日・第一回学年集会

内容①学年主任挨拶、②「Self e-portfolioのすすめと花には水をiPadには愛を！」ＩＣＴ活用推進プロジェクト主任　近藤明宏、③「ある付属生が他大受験に挑んだ理由」Ｍ組担任・英語科　冨田俊、④「トビタテ！鶴高生！」平成二九年度卒業生　船田美咲

◇平成三〇年九月の月間目標《夏休みに充電した成果を発揮しよう！》

九月二六日・第一回お掃除選手権大会（基礎学力テスト準備）

第一位・Ｌ組　一一〇点、第二位・Ａ組　一〇〇点、第三位・Ｅ組　九〇点、学年平均点七四・六点

◇平成三〇年一〇月の月間目標《＋四七七七運動～帰宅後から就寝までの時間の使い方を見直そう～》

一〇月二日・水泳大会

一年生が大活躍！男子がクロールでＩ組の青柳一樹、平泳ぎでＥ組の清水遥希、女子がバタフライでＬ組の橋本夏実の三名が個人総合で優勝、クラス対抗リレーでは男子はＩ組が三位、Ａ組が七位入賞、女子はＬ組が優勝、Ｈ組が三位、Ｃ組が四位、Ｇ組が六位、Ｂ組が八位入賞をした。そして総合成績でもＡ組が四位、Ｌ組が五位、Ｈ組が六位、Ｉ組が七位と賞状をほぼ独占した。

一〇月一〇日・第二回学年集会

内容①学年主任挨拶、②第１回ＥＴＣ（えいたんごこんてすと）表彰式、③「ある高校球児の進路選択の話」Ｇ組担任・数学科　寺島伊織、④「一番の宝物を捨てよう！～紆余曲折人生～」Ｃ組担任・国語科　酒匂守夫

一〇月三一日・第三回学年集会

内容①学年主任挨拶、②「カコからミライへ～プログラミングの世界へようこそ～」平成二六年度卒業生　豊島佳子、③修学旅行下見報告　Ｆ組担任・英語科　蔦原玲、Ｌ組担任・理科　齊藤裕子

◇平成三〇年一一月の月間目標《文理選択、決めた人は再確認、迷っている人はとりあえず》

一一月一四日・第四回学年集会

内容①学年主任挨拶、②「希望の進路実現に向けて～スタディーサポートの結果振り返り～」株式会社ベネッセコーポレーション　村上志穂氏

◇平成三〇年一二月の月間目標《期末をがんばり、模試を振り返り、Merry Christmas!》

一二月五日・第五回学年集会

内容①開会の言葉・審査委員紹介　田口裕基、②修学旅行仮想自主研修行程表プレゼンテーション　グランドファイナル、③講評・閉会の言葉　株式会社近畿日本ツーリスト　松野忠之氏

校長賞（第一位）・Ｈ組　あきわ、ＧＥＯＲＧＥ賞（第二位）・Ｊ組　モンキーガールズ、近畿ツーリスト賞（第三位）・Ｆ組　Ｆ３

◇平成三一年一月の月間目標《部活と学業のバランスを今一度、見直してみよう！》

一月二一日・第二回お掃除選手権大会（推薦入試準備）

第一位・Ｌ組　一一〇点、第二位・Ｅ組　一〇〇点、第三位・Ａ組　九〇点、学年平均点七一・五点

◇平成三一年二月の月間目標《学びの総決算のつもりで授業を受ける！》

これから、芸術鑑賞会、三年生を送る会、そして学年末試験と行事は続く。

一、「はい」という素直な心
一、「すみません」という反省の心
一、「おかげさま」という謙虚な心
一、「私がします」という奉仕の心
一、「ありがとう」という感謝の心

これらの日常の五心を常に胸に刻みつつ、第一学年の残りの時間を充実させてほしい。

平成三一年一月三〇日　インフルエンザに負けて病床にて記す。

常時

第２学年カナダ修学旅行報告

修学旅行担当：加藤　寛典

平成30年10月21日（日）～26日（金）（先発班）、10月22日（月）～27日（土）（後発班）にカナダ・バンクーバーでの修学旅行が実施されました。海外での修学旅行は20年以上の歴史になりますが、時代に合わせて内容を少しずつ変えています。３年前からは学校交流を取りいれました。では、初日から振り返っていきましょう。

初日は夕方に成田空港を出発し、現地時間の昼前にバンクーバーに到着しました。英語での入国審査に生徒は緊張したようです。昼食はロンズデール･キーやグランビルアイランドで食べました。ファーストフードなどで各自が購入したので、言葉の壁や馴染みのない方法に戸惑った生徒もいました。その後、ライオンズゲートブリッジ、スタンレーパークなどを見学しました。

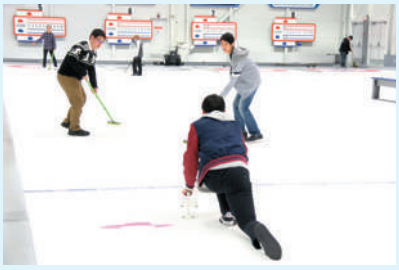
２日目は学校交流の日です。１～２クラスで現地の学校を訪問しました。到着後はウェルカム・セレモニーが催され、本校生徒・教員による英語でのスピーチも行われました。セレモニーの最後にはバディとのマッチングです。バディとは鶴高生をサポートしてくれる現地校の生徒です。その後、バディに学校の案内をしてもらい、バディの授業を受け、バディと昼食を取りました。午後は文化交流の時間です。渡航前に日本の遊びなどを準備しました。また、2020年に東京オリンピックが開催されるので、障がい者スポーツの「ボッチャ」も文化交流に取りいれました。英語での説明に苦労をしながらも、現地校生徒に楽しんでもらおうと試行錯誤していました。学校交流の後は地元スーパーでの買い物です。陳列の仕方や商品の大きさなど、日本との違いを感じたようです。ちょうどハロウィーンの時期でしたので、子供に配るためのお菓子もたくさんありました。

３日目はカーリング体験、リッチモンド・オリンピックオーバルでのスポーツ体験、UBC訪問の日でした。カーリングは初めての生徒が多く、テレビで観ているよりずっと難しかったようです。１時間ほど経つと少しずつ慣れてきて、最後はチームに分かれて試合も行いました。リッチモンド・オリンピックオーバルはバンクーバーオリンピックのスピードスケートの会場を体育館に改装し、市民が利用できるようにしたものです。生徒は施設見学とオリンピック競技の体験をしました。UBCはThe University of British Columbiaのことです。世界大学ランキング上位の大学です。海外の大学の規模や雰囲気を肌で感じました。

４日目は自主研修に出かけました。今年はオプショナルツアーとして、キャピラノ吊り橋とカヤック体験の２つを設けました。後発はあいにくの雨でしたが、自然体験や都市の見学など充実した時間を過ごせたようです。

５・６日目は帰国となります。アメリカとの国境にある「ピースアーチ州立公園」を訪問し、日本にはない陸続きの国境を見学しました。その後は空港に向かい、成田空港で解散となりました。

この６日間、学校交流、オリンピック、学術、自然、都市など様々な分野の体験をしました。もちろん身の周りが英語という環境も生徒にとって新鮮だったと思います。例年、この修学旅行を通して自分の生き方をより深く考えるようになったという生徒がいます。今年もそんな生徒が一人でも多くいれば幸いです。



初の海外旅行

２年B組　小林　佑輝（石神井東中）

僕は、初めての海外旅行でとても緊張していた。長時間の飛行機やお金の使い方について、とても不安だった。しかし、初めての海外で日本と全く違う街並みや自然が見られることや仲のいい友達と共に行動することがとても楽しみで仕方なかった。

初日は集合時間の２時よりも３時間早く成田空港に到着し、探検をした。そこで学校交流のバディへのお土産を買ったり昼食を済ませたりした。まだカナダに出発していないのに笑いが止まらなかった。カナダに着いてバスから街並みを見たときに、日本とは全く違う景色や自然の美しさに感動したのをよく覚えている。グランヴィルアイランドの景色が特にきれいで、心に残っている。

２日目の学校交流では最初はバディとうまく英語で会話ができるか心配だったが、相手がとても優しく、たくさん会話をすることができた。２ショットを撮影し、連絡先を交換するほどまでに仲良くなった。

３日目はスティーブストンで昼食をとり、美人の店員さんと写真を撮った。その後カーリング場に行き、初めてのカーリングに挑戦した。初体験にも関わらず２時間では足りないくらい楽しむことができた。

４日目は自主研修の日だった。スーパーではぐれてしまうハプニングもあったが、たくさんショッピングをしたりおいしいものを食べたりすることができた。B組の騒がしさのおかげで、逆にいい意味でこの修学旅行を一生の思い出にできたと思う。

バンクーバーはとてもいい場所だったし、４泊だけでは足りないと感じた。他の外国にもどんどん出かけ、長期の滞在をしてみたい。

カナダを知った修学旅行

２年D組　山本　凜花（谷本中）

修学旅行を終えて、私が一番に感じていることは、様々な人々を受け入れるカナダの多文化主義の素晴らしさです。このことをカナダにいた５日間の様々な場面で実感することができました。

学校交流では、バディと会話ができるかな、と不安な気持ちでした。私のバディのKaylaは、一つ年下なのに大人っぽくて話しやすい人でした。日本語を習ったばかりでKaylaも緊張していると言っていました。私が英語を聞き取れなかったりわからなかったりすると丁寧に説明してくれて、私の不安は消えていきました。日本文化紹介では「だるまさんがころんだ」を行いました。説明に言葉が詰まってしまっても、現地の生徒が質問してくれて、私の言っていることをわかろうとしてくれていることが嬉しかったです。英語を使って会話をするのは予想以上に大変だったけれど、会話ができたときの喜びは想像以上のものでした。

そして、自主研修ではカナダの日常にもっと触れることができました。日本と違って、信号がカウントダウンをしていたり、道にゴミ箱が設置されていたり、新鮮なことばかりでした。私たちが道に迷った時には、"Hi!" と声をかけてくれるカナダの人々の優しさに感動しました。私がもし道に迷っている外国の人を見ても、そんなことはできないな、と思います。

カナダにはアジア系の人もたくさんいて、移民を受け入れる国の奥深さを感じました。また国だけでなく国民も私たちの文化に興味を持ってくれました。私の将来への道がさらに広がった、初の海外旅行となりました。

芸術鑑賞会

平成三十一年二月七日、川崎市麻生市民館・大ホールにて芸術鑑賞会が行われた。今年度の題目は、「寄席演芸」。落語や曲芸などの日本の古典芸能に普段から慣れ親しんでいる生徒は少なく、ほとんどの者が初めての寄席演芸鑑賞の機会となったようである。

【第一幕】柳家　小んぶ（落語）
江戸家　まねき猫（動物ものまね）
【第二幕】鏡味　正二郎（太神楽）
古今亭　菊之丞（落語）

二時間半ほどのボリュームたっぷりの演目であったが、会場は終始生徒たちの笑い声や驚きの声に包まれていた。出演者の方々の素晴らしいパフォーマンス力や、それぞれの演目が持つ歴史の長さ・深さに圧倒され、生徒たちがこの日本という国について新たな視点から考える機会を得たことは間違いない。

〈生徒コメント〉

一年F組　中野　遥（中原中）

芸術鑑賞会は想像以上に楽しかったです。特に、見ている人と芸人さんで一緒に楽しむことができるところが良いと思いました。ミュージカルやオーケストラなどの芸術だったらなかなかできないことだと思います。静かにしている必要がなく、笑いたい時に声を出して笑っていい雰囲気が好きになりました。どの芸人さんも素晴らしかったのですがなんといっても印象に残ったのが太神楽の鏡味正二郎さんです。優れたバランス能力と技術に非常に驚かされました。一見すぐに落ちてしまいそうでどきどきしながら見守る時や、手を離してもバランスを維持していることに感動した時など気持ちの変化が大きくてとても楽しめました。さらに芸だけでなく話し方も面白く、全て誰かを楽しませるためにやっているように思えて芸人さんの凄さを感じました。たくさんという言葉では足りないほど練習をしないときっとあんな事はできないと思います。楽しむことができて良かったです。

第三十六回文芸コンクール表彰

平成三十年度日本大学付属高等学校等第三十六回文芸コンクール表彰式、及び懇親会が、平成三十一年二月二十日（水）十四時より、日本大学会館大講堂にて盛大に挙行されました。

出席した生徒たちは他の付属校生に積極的に話しかけ、懇親会でも和やかな雰囲気で交流を深めていました。自由な発想のもと、様々な手段で自己表現をすることのできる文芸コンクールに、日頃から興味、関心を持ち、ますます積極的に取り組むことを期待します。

今後も国語科一同、生徒のみなさんの活躍を応援していきます。受賞者のみなさま、本当におめでとうございます。

俳句の部
佳作　黒田　莉早（1F・菅中）
短歌の部
入選　秋元　隼和（1I・西高津中）
佳作　赤倉　栞莉（2F・府中十中）
詩の部
入選　春名　美和（2D・生田中）
佳作　豊島　心子（1C・荻窪中）
佳作　田中　絢菜（2G・竪川中）

広報室

〈異動（転入）〉
大熊（おおくま）　宏明（ひろあき）　事務課主任
平成三十年十一月十五日付で、日本大学本部財務部経理課より本校に着任されました。

〈慶事〉
葛西　香緒（保健体育科）
平成三十一年一月一日、ご結婚なさいました。末永いお幸せをお祈り申し上げます。

部活動報告

■水泳部
▽日本大学付属高等学校水泳競技大会（6／6東京辰巳国際水泳場）
女子100m　自由形　第9位
梶沼ななえ（3E・豊玉中）
女子100m　背泳ぎ　第4位
内田　陽菜（3G・三鷹一中）
女子200m　バタフライ　第3位
土屋　美幸（3I・市川三中）
女子400m　個人メドレー　第7位
田中　里彩（3C・西池袋中）
女子400m　メドレーリレー　第6位
（内田・田中・土屋・梶沼）
女子400m　フリーリレー　第7位
（内田・梶沼・土屋・田中）
▽東京都高校春季水泳競技大会（6／9・10東京辰巳国際水泳場）
女子100m　自由形　第16位
内田　陽菜
女子100m　自由形　第19位
梶沼ななえ
女子200m　バタフライ　第7位
土屋　美幸
女子200m　個人メドレー　第12位
田中　里彩
女子400m　メドレーリレー　第13位
（内田・梶沼・土屋・田中）
▽東京都高等学校選手権大会水泳競技大会（6／23・24東京辰巳国際水泳場）
女子100m　バタフライ　第15位
土屋　美幸
女子200m　バタフライ　第12位
土屋　美幸
女子200m　自由形　第16位
内田　陽菜
女子400m　個人メドレー　第9位
田中　里彩
女子400m　メドレーリレー　第16位
（内田・松下・土屋・梶沼）
女子400m　フリーリレー　第13位
（内田・梶沼・土屋・田中）
女子800m　フリーリレー　第11位
（内田・梶沼・土屋・田中）
▽杉並区水泳競技大会（9／2和田堀公園プール）
総合第3位　女子
▽第九支部大会（9/17日本大学鶴ヶ丘高校プール）
総合第2位　女子

■陸上競技部
▽第69回全国高等学校男子駅伝競走大会東京都予選会（11/3）
54位　2時間33分33秒
1区　櫻井　晴（1H・玉川中）、
2区　辻井　亮羽（1M・南中山中）、
3区　小川　晃生（2D・狛江二中）、
4区　野澤　雅治（1B・南浦和中）、
5区　礒津　良太（1J・府中二中）、
6区　長澤　壮大（ID・千歳中）、
7区　久保田瑶生（2E・弥栄中）
▽第30回全国高等学校女子駅伝競走大会東京都予選会（11/3）
29位　1時間27分44秒
1区　吉野　萌（2H・姪浜中）、
2区　河邊　咲（2J・板橋三中）、
3区　川住　伊代（1J・品川学園中）、
4区　宮澤　希々（1L・文花中）、
5区　簑口　優奈（1A・生田中）
▽4・5・6支部　第21回新春駅伝競走大会（1／7）
男子　25位　1時間14分10秒
1区　小川　晃生、2区　辻井　亮羽、
3区　長澤　壮大、4区　野澤　雅治
▽4・5・6支部　第20回新春駅伝競走大会（1／7）
女子　8位　49分37秒
1区　吉野　萌、2区　簑口　優奈、
3区　河邊　咲、4区　川住　伊代

■女子バスケットボール部
▽H30年度　新人大会兼関東新人大会東京都予選
11/4（日）本校58-79日体桜華女子高
※1回戦敗退

■男子バレーボール部
▽新人大会（11/4）
1回戦　本校2-0足立学園
本校0-2多摩大目黒
▽私立高等学校選手権大会（12/16）
1回戦　本校2-0穎明館
2回戦　本校0-2芝

■女子バレーボール部
▽新人リーグ（11/3・4）
本校2-1関東国際
本校2-0千歳丘
本校2-0日大三
本校2-0芦花
本校2-0専大附属
リーグ戦1位通過
▽新人選手権大会（11/11）
本校2-1成城学園
本校0-2東京
都ベスト64
▽私学大会（12/16）
本校2-1拓大一
本校0-2東京女子学院

■アメリカンフットボール部
▽全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会（10/28）
1回戦　本校27－35立教新座

■男子ソフトテニス部
▽東京都私学大会新人個人戦（10/21）
ベスト32　伊郷　太貴（2C・清明学園）
木庭　直哉（2D・深沢中）
石川　雄聖（2I・御園中）
川口竜之介（1M・尾久八幡中）
▽東京都私学大会新人団体戦（10/28）
第3位　伊郷　太貴
川口竜之介
石川　雄聖
鳥羽　慧寛（2A・烏山中）
松永　拓也（2B・志村一中）
木庭　直哉
▽東京都新進大会個人戦（11/4）
第3位　伊郷　太貴　木庭　直哉
ベスト16　石川　雄聖　川口竜之介
▽東京都インドア大会（1／4）
ベスト8　伊郷　太貴　鳥羽　慧寛
松永　拓也　木庭　直哉
石川　雄聖　川口竜之介
鶴田　洋介（2G・
秋田大学教育文化学部附属中）
北川　広宙（2A・烏山中）

■女子ソフトテニス部
▽新進大会（11/3・4）
都ベスト32
藤原　美月（1A・稲城三中）・
林崎菜々子（2G・深沢中）
藤間　彩花（2I・篠崎二中）・
三浦　花織（2H・三鷹一中）
都ベスト64
池本　絢那（2H・南陵中）・
春名　美和（2D・生田中）
▽東京私立高等学校新人選手権大会（11/11・25）
都ベスト32
藤原　美月・林崎菜々子
藤間　彩花・三浦　花織
▽インドア大会（1／4）
都ベスト4　準決勝　本校0-3文大杉並
▽中野区インドア大会（1/13）
優　勝　藤原　美月・林崎菜々子
第3位　藤間　彩花・三浦　花織
嶋村　南璃（2H・打越中）・
杉野　海愛（1A・金井中）

■バドミントン部
▽八王子オープンダブルス大会（男子複）（12/16）
▽フジ杯多摩地区ジュニアダブルス大会（男子複）（12/16）
▽板橋オープン高校生大会（男女複）（12/25・26）
▽冬季西ブロック大会（男女団体）（1/14）
予選リーグ、決勝トーナメント

■剣道部
▽杉並区大会（10/28）
女子団体　準優勝
女子個人　第3位
川口　純奈（1K・清泉中）
▽高体連第5支部（杉並・中野・練馬）大会（11/23）
女子団体　準優勝
女子個人　第3位　川口　純奈
ベスト8　福本　光莉（2G・国分寺三中）
▽東京都新人剣道大会（1/19）
女子団体　ベスト16
1回戦　本校2-0都立日比谷
2回戦　本校2-0農大一高
3回戦　本校0-1東海大高輪台

■空手道部
▽第27回 関東高等学校空手道選抜大会（1/26・1/27 於：埼玉県立武道館）
女子団体形
＜関東南ブロック戦＞
1回戦　本校1-4山梨学院
＜全国選抜出場枠決定戦＞
1回戦　本校2-3拓殖大学紅陵
女子団体組手
＜関東南ブロック戦＞
1回戦　本校0-3秀明八千代
＜全国選抜出場枠決定戦＞
1回戦　本校3-1市川
2回戦　本校0-3帝京
女子個人形　軍司　佳歩（2C・三鷹一中）出場
＜関東南ブロック戦＞
1回戦
軍司　佳歩（本校）0-5浅川野乃香（日本航空）
＜全国選抜出場枠決定戦＞
1回戦
軍司　佳歩（本校）0-5木津　歩美（拓殖大学紅陵）

■ゴルフ部
▽関東高等学校ゴルフ選手権冬季大会
決勝出場
関根空瑠美（2H・千歳中）

■ウエイトリフティング部
▽東京都新人戦及び関東選抜大会予選会（11/25 於：武蔵野の森総合スポーツプラザ）
男子62kg級　トータル143kg　2位
小林（1B・三沢中）
男子77kg級　トータル168kg　1位
蛯名　廉（1L・落合二中）
男子85kg級　トータル168kg　2位
田中　健太（1B・十条富士見中）
女子58kg級　トータル133kg　1位
橋本　夏実（1L・東村山四中）
▽平成30年度第34回関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会（1/13・14 於：山梨県立日川高等学校）
男子61kg級　トータル147kg　11位
小林
男子73kg級　トータル170kg　6位
蛯名　廉
男子89kg級　トータル166kg　9位
田中　健太
女子59kg級　トータル140kg　1位
橋本　夏実

■写真部
▽横浜における撮影会（11/11）
▽よみうりランドにおける撮影会（12/21）
▽東京都高等学校文化祭写真部門中央大会（12/22～28）
出展　西村　嶺実（2B・小山中）

■放送部
▽第41回東京都高等学校文化祭放送部門
（予選11/3、決勝11/24）
【朗読部門】
第7位　今井　結衣（1D・枡形中）
【オーディオピクチャー部門】
第4位　変えたい、じゃあ行動しよう
制作代表：守谷　梓沙（1L・調布六中）
【ビデオメッセージ部門】
第4位　1コマから世界へ
制作代表：木澤りさ子（2I・南六郷中）
【オーディオドラマ部門】
第3位　空白
制作代表：野崎　麻衣（2D・府中六中）
【ビデオドラマ部門】
第2位　空
制作代表：寺田　裕香（1C・横山中）
※東京都教育委員会賞

■演劇部
▽東京都中央発表会（11/17）
最優秀賞（水木京太賞・審査員特別賞・東京都教育委員会賞）
榊原政常記念創作脚本賞　関東大会へ推薦
▽第54回関東高等学校演劇研究大会（1/19）
最優秀賞（文部科学大臣賞・全国高等学校演劇協議会会長賞・関東高等学校演劇協議会会長賞）　創作脚本賞　第65回全国高等学校演劇大会（佐賀大会）へ推薦

■吹奏楽部
▽2018TAMAアンサンブルフェスタ（12/27）
金管8重奏銀賞、木管3重奏銅賞（グッドサウンド賞）
▽第42回東京都高等学校アンサンブルコンテスト（1／5・6）
サックス8重奏金賞、クラリネット7重奏銀賞
▽第66回第九支部親睦音楽会（1/13）
専修大学附属高等学校と合同演奏
▽第46回定期演奏会（3/18）

■バトントワリング部
▽平成30年12月 第23回シニアバトントワーリングフェスティバル
2年生参加
▽平成31年1月第32回関東バトントワーリングチームコンテスト
初級部門 金賞受賞
ベストドレッサー賞受賞
▽平成31年2月東京都バトン協会バトントワーリングコンテスト千代田区大会
初級・中級　出場
▽平成31年2月 3年生を送る会演技披露

■茶華道部
▽鶴ヶ丘祭（6月）
茶会および華道展示
▽鎌倉陶芸遠足（7月）
▽いけばな嵯峨御流 免状取得（12月）
入門・初伝
高桑芽萌里（2年）

■料理部
▽体育祭障害物競走用マドレーヌ提供
（240個、11/6）
▽おにぎりアクションwith Highers☆
（11/8、15、16、22）
▽クリスマスケーキ講習（12/17）
▽揚げ物講習（12/18）

■ダンス同好会
▽部活動説明会にてダンス発表（4/7）
▽鶴ヶ丘祭にてダンス発表（6/23・24）
▽わいわい広場にて秋公演（9/20）
▽Xmas公演（12/20）
▽三年を送る会にて2年生のダンス発表（2/20）
▽月1回、ダンス講師のレッスン開催

第２学年　カナダ修学旅行報告
平成30年10月21日(日)～26日(金)(先発班)　10月22日(月)～27日(土)(後発班)